

母親の皆さん、ユニケの手本から学びましょう

「母の教えを捨ててはならない。それは、あなたの美しい冠、立派な首飾りである」。格言 1:8, 9 わが子よ、父のしつけ(*訓練)を受け入れ(d*聞き)なさい。母の教え(*律法)を捨ててはならない。9 それは、あなたの美しい冠、立派な首飾りである。

137 番の歌 忠実な女性たち

何を学ぶか*クリスチャンである母親は、テモテの母ユニケの手本から、どんなことを学べますか。エホバを知って愛するよう自分の子供を助けるために、どんなことができるでしょうか。この記事ではこうした点を考えます。



テモテの母ユニケと祖母ロイスが、テモテがバプテスマを受けるのを見て心から喜んでいる。(1 節を参照。)

1-2. (ア) ユニケはどんな人でしたか。母親として、どんな問題にぶつかりましたか。(イ) 表紙の絵からどんなことが分かりますか。

(イ)聖書には、テモテのバプテスマのことは何も書かれていません。それでも、その日に母親のユニケが味わった喜びについて想像することは難しくありません。(格 23:25 あなたの父親と母親は喜び、あなたを産んだ母親は喜びにあふれる) ユニケは、腰まで水に漬かって立っているテモテを見て、誇らしく思っています。笑顔のユニケのすぐ隣には、テモテの祖母ロイスがいます。ユニケが固唾をのんで見守る中、テモテが水の中に沈みます。大きな水しぶきと共に、テモテが満面の笑みを浮かべて水の中から現れるのを見て、ユニケは涙をこらえることができません。ユニケは、エホバと独り子イエス・キリストを愛するよう自分の息子を教えることができたのです。では、テ

モテがバプテスマを受けるまでに、ユニケはどんな難しい問題乗り越える必要があったでしょうか。

2(ア)テモテは、両親の宗教が異なる家庭で育ちました。父親はギリシャ人でしたが、母親と祖母はユダヤ人でした。(使徒 16:1 パウロはデルベに、次いでルステラに着いた。そこにテモテという弟子がいた。信者であるユダヤ人女性の息子で、ギリシャ人の父親を持ち) 母のユニケと祖母のロイスがクリスチャンになったのは、テモテが 10 代の時だったようです。しかし、父親はクリスチャンになりませんでした。では、テモテはどうするのでしょうか。その時、テモテはすでに自分で決定できる年齢になっていたようです。①父親の宗教を選ぶのでしょうか。子供の頃からずっと教えられてきた②ユダヤ教の伝統を引き続き守るのでしょうか。それとも、母や祖母と同じように、③クリスチャンになるのでしょうか。

3. 格言 1 章 8, 9 節からすると、エホバとの友情を育むよう子供を助けている母親の努力をエホバはどう見ていますか。

3 現代でも、クリスチャンである母親は家族を愛しています。エホバとの固い友情を育むよう子供を助けたいと何よりも願っています。エホバはそうした努力を高く評価しています。(格言 1:8, 9 わが子よ、父のしつけ(*訓練)を受け入れ(d*聞き)なさい。母の教え(*律法)を捨ててはならない。9 それは、あなたの美しい冠、立派な首飾りであるを読む。)そして、真理の道を歩むよう子供たちを教えることができるよう、大勢の母親を助けてきました。

4. 母親たちはどんな問題にぶつかりますか。

4 母親は、自分の子供はテモテのようにエホバに仕えるようになるだろうか、と心配になることがあるものです。サタンが支配する世の中で、子供たちが本当に大きなプレッシャーを受けていることを知っているからです。(ペテ 5:8 頭がさえた状態(*鋭敏な感覚/冷静さ)を保ち、油断なく見張ってください。敵である悪魔が、ほえるライオンのように歩き回って、誰かをむさぼり食おうとして(*むさぼり食おうと探しています)それに加えて、夫がいなかったり、夫がエホバの証人ではない場合は、なおのこと大変でしょう。クリスティーン姉妹はこう言います。*一部名前変更「主人はとても良い父親で、家族思いの人でしたが、私がエホバの証人になるよう子供たちを教えることには強く反対しました。それで、子供たちはエホバの証人になれるのだろうかと思い、涙を流したことが幾度もありました」。

5. この記事ではどんなことを考えますか。

5 母親の皆さん、あなたもユニケと同じように、エホバを愛し、エホバに仕えるよう子供たちを助けることは可能 です。この記事では、言葉と行いによって子供たちを教える上で、ユニケの手本にどのように倣えるかを考えます。そして、エホバが助けてくださることについても取り上げます。

言葉によって子供を教える

6. テモテ第二 3 章 14, 15 節からすると、テモテはどのようにしてクリスチャンになりましたか。

6 テモテが幼い頃、ユニケはイエス・キリストについて全く知りませんでした。ユダヤ人の理解に沿って「聖なる書物」をテモテに教えるためにできる限りのことを行いました。そのおかげで、テモテはクリスチャンになるための良い基礎ができていました。では、テモテはクリスチャンになるのでしょうか。テモテは、クリスチャンとして生きるかどうかを自分で決められる年齢になっていました。そして、イエスについての真理を「納得して信じるようにな」りました。そうできたのは、母親からの助けがあったからに違いありません。（[テモテ第二 3:14, 15](#) あなたは、自分が学び、納得して信じるようになった事柄から離れないようにしなさい。あなたはそれを誰から学んだかを知っており、15 幼い時から聖なる書物に親しんできました。その書物はあなたを賢くし、キリスト・イエスへの信仰による救いを得られるようにします）ユニケは、エホバに仕えるよう子供を教えることができ、本当にうれしかったことでしょう。ユニケは自分の名前に沿った生き方をした、とすることができます。その名前は、「征服する」という意味の言葉から来ているからです。

7. ユニケはテモテがバプテスマの後にも進歩できるよう、どのように助けましたか。

7 バプテスマはテモテにとって人生の重要な一步でした。でも、ユニケの心配が終わったわけではありません。テモテは、その後の人生をどのように送っていくのでしょうか。悪い友達と付き合うようになってしまわないのでしょうか。アテネの学校に行って、異教の哲学を信じるようになってしまわないのでしょうか。裕福になることに思いを奪われて、時間や体力や若さを無駄にしてしまうことはないのでしょうか。ユニケはテモテの代わりに決定することはできません。でも、助けになることはできました。エホバを愛し、独り子イエスへの感謝を培うよう教えることによってです。こうした問題にぶつかるのは、夫婦の片方だけがエホバの証人という家庭に限ったことではありません。両親がエホバの証人であっても、エホバに忠実に仕えるよう子供の心を動かすのは、時に難しいことがあります。では、親はユニケの手本からどんなことを学べるのでしょうか。

8. 夫がエホバの証人である場合、エホバについて子供に教える面で、妻はどのように助けになれますか。

8 子供と一緒に聖書を勉強する。母親である皆さん、ご主人がエホバの証人であるなら、ご主人はエホバについて子供に教えたいと思っているでしょう。エホバは、その面であなたがサポートすることを願っています。そうする1つの方法は、毎週の家族の崇拝がうまくいくようサポートすることです。家族の崇拝の良い面について語るようにしましょう。どうすればその時間を温かく楽しいものにできるだろうか、と考えてください。夫が聖書を学ぶための特別なプロジェクトを計画する時には、協力することができます。また、子供が「いつまでも幸せに暮らせませう」の本を1人で勉強できる年齢になっているなら、必要に応じて、夫と共に助けを与えるようにしましょう。

9. 夫がエホバの証人ではない場合、母親が子供を教える上でどんなことが役に立ちますか。

9 ひとり親であったり夫がエホバの証人でなかったりする場合には、母親であるあなたが子供に聖書を教える必要があります。それでも、心配し過ぎないでください。エホバが助けてくださいます。エホバは組織を通して、子供に聖書を教えるのに役立つツールを準備してくださっています。それを活用しましょう。子育てをしてきた人に、そうした道具を家族の崇拝で使うためのヒ

ントについて尋ねることもできます。*「いつまでも幸せに暮らせます」の本のレッスン 50 や、「ものみの塔」2011 年 8 月 15 日号 6-7 ページの「家族の崇拜と個人研究のためのアイデア」という記事などを参照（格 11:14 巧みな指揮(*的確な導き)がないと民は倒れ、助言者が多ければ成功する(*救われる)）エホバは、子供とコミュニケーションを取る面でも助けてくださいます。子供がどんなことを考えたり感じたりしているのかを知ることができるよう、助けを求めてエホバに祈ってください。（格 20:5 人の心の考え(*意図)は深い所にある水のように。識別力のある人はそれをくみ上げる）「最近、学校どう？ 何か大変なことある？」といった、ちょっとした質問をするなら、子供の心の中にあるものを引き出すことができるでしょう。

10. エホバについて子供に教えるために、どんなこともできますか。

10 いろいろな機会にエホバについて教える。エホバについて、また、エホバが自分にしてくださったたくさんしたことについて話すようにしましょう。（申 6:6, 7 私が今日命じるこれらの言葉があなたの心に入っていなければなりません。7 あなたはその言葉を自分の子にしっかり教え(*繰り返し言い/銘記させ)、家で座るときも、道を歩くときも、寝るときも、起きるときもそれについて話さなければなりません。イザ 63:7 私は、エホバの揺るぎない愛の行い、エホバの素晴らしい行いについて語る。エホバは憐れみと大きくて揺るぎない愛により、私たちのために、イスラエル国民のために、多くの良いことを行ってくださったからだ）子供と家で聖書を定期的に勉強できない場合、そうするのは特に重要です。先ほどのクリスティーナ姉妹はこう言います。「家でエホバについて話すのは難しかったので、どんなチャンスも逃さないようにしました。散歩に行く時やカヌーに乗る時に、エホバが創造した素晴らしいものや、どうすればエホバと友達になれるかについて話しました。子供がある程度大きくなると、自分で聖書を学ぶように励ましました」。さらに、エホバの組織や仲間の兄弟姉妹について良いことを語るのも大切なことです。長老を批判したりしてはいけません。親が長老についていつも良いことを語っているなら、子供は助けが必要な時に長老に頼ろうとするでしょう。

11. ヤコブ 3 章 18 節からすると、家庭を平和な所にするのが大切なのはなぜですか。

11 家庭を平和な所にする。夫や子供を愛していることをいつも伝えるようにしましょう。夫について話す時には、親切で敬意のこもった話し方をし、同じようにするよう子供たちにも教えましょう。そうするなら、家庭は平和な所になり、子供たちはエホバについて学びやすくなります。（ヤコブ 3:18 正しさの実は、平和をつくり出している人たちのために(if*によって)、平和な状態の中でまかれた種から生じますを読む。) ルーマニアで特別開拓奉仕をしているヨーゼフ兄弟の例を考えてみましょう。兄弟が子供の頃、父親は妻や子供たちがエホバに仕えることに強く反対していました。兄弟はこう言います。「母は家庭を平和な所にするために、本当に努力していました。父が厳しい態度を取れば取るほど、母はいつそう穏やかに接していました。私たち子供が父に敬意を示したり従ったりするのを難しく感じていることに気付くと、エフェソス 6 章 1-3 節子供は、主に喜ばれるよう(*主と結ばれている)親に従ってください。そうするのは正しいことです。2 「父と母を敬いなさい」とあり、これは約束を伴う最初の命令です。3 「そうすれば物事はうまくいき(*そうすれば成功し)、地上で長く生きられる」という約束ですについて話し合ってくれました。そして、父の良い点について話し、私たちが父に敬

意を示すのが大切なのはどうしてかを教えてくれました。母がこのように努力してくれたおかげで、緊張が和らいだことが何度もありました」。

行いによって子供を教える

12. テモテ第二1章5節によると、ユニケの手本は、テモテにどんな影響を与えましたか。

12 テモテ第二1:5 あなたの偽善のない信仰を思い出すからです。あなたの祖母ロイスと母ユニケがまず、そのような信仰を抱きました。そして、あなたも抱いていることを私は確信していますを読む。ユニケはテモテに良い手本を示しました。本物の信仰には行動が伴うということを教えたはずです。（ヤコ 2:26 生命力(*息)のない体が死んでいるのと同じように、行動が伴わない信仰も死んでいる）テモテは、ユニケがエホバへの強い愛に動かされて行動していることや、エホバに仕えることによって幸せを味わっているのを目にしたに違いありません。こうしたユニケの手本は、テモテにどんな影響を与えたのでしょうか。パウロが述べている通り、テモテはユニケと同じように強い信仰を持つようになりました。これは偶然ではありません。テモテはユニケの手本を見て、自分も同じようにしたい、と思ったのです。同様に、現代の大勢の母親も、「言葉ではなく」行いによって家族の心を動かしています。（ペテロ 3:1, 2 同じように、妻の皆さん、夫に従ってください。そうすれば、神の言葉に従順でない夫であっても、言葉ではなく妻の振る舞いによって、引き寄せられるでしょう。2 皆さんの深い敬意がこもった清い振る舞いを見るからで）あなたもそうすることができます。どのようにでしょうか。

13. 母親がエホバとの友情を何よりも大切にすることが必要なのはなぜですか。

13 エホバとの友情を何よりも大切にすること。（申 6:5, 6 あなたは、心を尽くし、力(*活力/資力)を尽くし、自分の全て(へ語ネフェシユ)を尽くして、あなたの神エホバを愛さなければなりません。6 私が今日命じるこれらの言葉があなたの心に入っていないければなりません) 多くの母親と同じように、あなたもさまざまな犠牲を払っています。時間やお金を費やし、寝る時間を削ってまで、子供を世話するためにさまざまなことをしています。とはいえ、忙しさのあまり、エホバとの友情を犠牲にすることがあってはなりません。時間をきちんと取り分けて、エホバに祈り、聖書を勉強し、集会に出席するようにしましょう。そうするなら、エホバとの友情はいつそう強まり、家族やほかの人の手本となることができるでしょう。

14-15. リーアン姉妹、マリア姉妹、ジョアン兄弟の例から、どんなことを学べますか。

14 母親の手本を見て、エホバを愛し、信頼するようになった若い人たちの例を幾つか考えてみましょう。①クリスティーナ姉妹の娘であるリーアン姉妹はこう言っています。「父が家にいると、自由に聖書を勉強することはできませんでした。でも、母は集会を決して休んだりはしませんでした。私たち子供は、聖書の知識は限られていましたが、母の手本のおかげで、強い信仰を持てるようになりました。集会に出席するようになる前から、エホバの証人は真理を教えていると確信することができました」。

15 ②マリア姉妹の家族は、集会に出席すると、父親からひどい仕打ちを受けることがありました。姉妹はこう言います。「母ほど勇気のある人はなかなかいないと思います。私は子供の頃、何

かをしようと思っても、ほかの人から何と言われるかを気にして、できないことがありました。でも、母の勇気や、母が生活の中でエホバを第一にしている様子を見て、私も人への恐れを乗り越えることができました」。③ジョアン兄弟の父親は、家族が家でエホバや聖書について話すことを禁止していました。兄弟はこう言います。「母の姿には心を打たれました。父に喜んでもらうためにはどんなに大変なことでも行っていました、エホバへの愛については絶対に譲りませんでした」。

16. 母親の手本は、家族以外の人にもどんな良い影響を与えますか。

16 母親の皆さん、あなたの手本は、家族以外の人たちにも良い影響を与えます。どのようにでしょうか。ユニケの手本がパウロにどんな影響を与えたか、考えてみましょう。パウロは、テモテの偽善のない信仰は「ユニケがまず」抱いたものだった、と書きました。（[テモ二 1:5](#) あなたの偽善のない信仰を思い出すからです。あなたの祖母ロイスと母ユニケがまず、そのような信仰を抱きました…）パウロがユニケの信仰を初めて目にしたのは、いつのことだったのでしょうか。それは恐らく、第1回宣教旅行の時でしょう。パウロは、ルステラでユニケとロイスに会い、クリスチャンになるよう2人を助けたようです。（[使徒 14:4-18](#)）そして、それから15年ほど後、テモテに手紙を書いた時にも、信仰に基づくユニケの行いを覚えていました。ユニケを倣うべき手本と考えていたのです。ユニケの手本は、パウロにとっても、1世紀のほかのクリスチャンにとっても、心に残るものだったに違いありません。あなたも、ひとり親であったり夫がエホバの証人でなかったりする中で子供を育てているなら、あなたの信仰の手本は周りの人に励みを与えるものとなります。



エホバを愛するよう子供を助けるには時間がかかります。諦めないでください。（17節を参照。）

17. 子供を教える面での努力が実を結んでいないように感じる場合、どうするとよいですか。

17 子供を助ける面での自分の努力が実を結んでいないように感じる場合は、どうでしょうか。子供を教えるには、時間がかかるものです。挿絵に注目してみましょう。何かの種をまいた場合、

それが本当に成長して実を結ぶだろうか、と心配になるかもしれません。確かに、必ず実がなるようにコントロールすることはできません。それでも、水をやり続けるなら、その植物の成長のために精いっぱいのことを行っていることになります。（マル 4:26-29 イエスは続けて言った。「神の王国は、人が地面に種をまく場合のようです。27 人は夜に眠り、昼は起きていますが、そうしているうちに、種は芽を出し、丈が高くなります。どのようにしてかを人は知りません。28 地面はひとりでの、最初は茎、次に穂、最後に熟した穂の中身というように、次第に実を生じさせていきます。29 穀物が実とすぐ、人は鎌を入れます。収穫の時が来たからです」）同じように、母親であるあなたも、子供の心を動かすことができているだろうか、と心配になることがあるかもしれません。確かに、結果をコントロールすることはできません。それでも、自分にできる限りのことを行って子供を教え続けるなら、子供がエホバの友になるよう精いっぱい助けていることになります。（格 22:6 少年(*子供/若者)を彼の行くべき道に沿って育てよ。彼は年を取っても、それから離れない）

助けを求めてエホバに頼る

18. エホバはご自分の友となるよう、子供たちをどのように助けてくださいますか。

18 聖書の時代から現代に至るまで、エホバはご自分の友となるよう大勢の若い人たちを助けてきました。（詩 22:9, 10 あなたは母の胎内から私を取り出した方、母の胸の中で安心させてくださった方。10 私は生まれた時からあなたの世話を受けてきた。母の胎内にいた時からあなたは私の神）あなたの子供がエホバの友になりたいと思っているなら、エホバはその子のことも助けてくださいます。（コリ 3:6, 7 私は植え、アポロは水を注ぎました。しかし、成長させたのは神です。7 ですから、大切なのは、植える者でも水を注ぐ者でもなく、成長させる神なのです）子供が真理の道からそれているように思えるとしても、エホバはその子を温かく見守っています。（詩 11:4 エホバは聖なる神殿にいる。エホバの王座は天にある。神はその目で見。注意深い目で人々を調べる）その子が「正しい態度」を持っていることを少しでも示すなら、エホバは引き寄せてくださいます。（使徒 13:48 異国の人々はこれ聞いて喜び、エホバ(*)の言葉を賛美するようになった。そして、永遠の命を得るための正しい態度を持つ人は皆、信者となった。代 16:9 エホバは、心の全てがご自分に向いている人の力(*支え)になろうとして、世界中に目を行き届かせています。）またエホバは、あなたが適切なことを適切な時に、つまり子供にとって一番必要な時に話せるようにも助けてくれるでしょう。（格 15:23 人は適切な答えをすることに喜びを感じる。適切な時に話される言葉は、何と良いのだろう）あるいは、あなたの子供に関心を示すよう、会衆の兄弟姉妹を動かすかもしれません。子供が大人になった後でも、その子が親から教わったことを思い出せるようエホバは助けてくれます。（ヨハ 14:26 しかし、父が私の名によって遣わす援助者つまり聖なる力が、あなたたちに、全てのことを教えるとともに、私が話した全てのことを思い起こさせます）あなたが言葉と行いによって子供を教え続けるなら、エホバは豊かな祝福を与えてくださるのです。

19. エホバがあなたのことを喜んでくださると確信できるのはなぜですか。

19 あなたの子供がどんな決定をするとしても、あなたに対するエホバの愛は変わりません。エホバがあなたを愛するのは、あなたがエホバのことを愛しているからです。あなたがひとり親であるなら、エホバは、あなたの子供の父親になり、あなたを保護すると約束しています。（詩 68:5 孤児(*父親のいない子供)の父、やもめを保護する方(d*裁く方)、それは聖なる住まいにいる神）あなたは、子供

がエホバに仕えるかどうかを決められるわけではありません。それでも、エホバに頼ってできる限りのことを行なうなら、エホバはあなたのことを喜んでくださいます。

母親にはどんなことができますか

I. 言葉によって子供を教える面で

- ・S06 テモテが幼い頃、ユニケはイエス・キリストについて全く知りませんでしたが、ユダヤ人の理解に沿って「聖なる書物」をテモテに教えるためにできる限りのことを行い、おかげで、テモテはクリスチャンになるための良い基礎ができた
- ・S07 テモテがバプテスマの後にも進歩できるよう、エホバを愛し、独り子イエスへの感謝を培うよう教えることによって助けた。
- ・S08 **子供と一緒に聖書を勉強する**
点で、毎週の家族の崇拝がうまくいくようサポートする。家族の崇拝の良い面について語ったり、どうすればその時間を温かく楽しいものにできるだろうかと考える。
- ・S09 ひとり親/夫がエホバの証人でない場合、母親であるあなたが子供に聖書を教える必要が、エホバの助けがあるので心配し過ぎない。エホバが組織を通して準備して下さった子供に聖書を教えるのに役立つツールを活用しましょう。子育てをしてきた人に、そうした道具を家族の崇拝で使うためのヒントについて尋ねる。子供がどんなことを考えたり感じたりしているのかを知ることができるよう、助けを求めてエホバに祈り、子供の心の中にあるものを引き出す質問をする。
- ・S10 **いろいろな機会にエホバについて教える**。エホバについて、また、エホバが自分にしてくださったたくさんしたことについて話す。さらに、エホバの組織や仲間の長老や兄弟姉妹について良いことを語る。
- ・S11 **家庭を平和な所にする**。夫や子供を愛していることをいつも伝え、夫について話す時には、親切で敬意のこもった話し方をし、同じようにするよう子供たちにも教える。

II. 行いによって子供を教える面で

- ・S13 **エホバとの友情を何よりも大切にする**。忙しさのあまり、エホバとの友情を犠牲にすることがあってはならず、時間をきちんと取り分けて、エホバに祈り、聖書を勉強し、集会に出席する手本を示す。
- ・S14-15 母たちは、①決して集会を決して休まず、②勇気を示してエホバを第一にし、③エホバへの愛については絶対に譲らない—手本を示してきた
- ・S16 ユニケの手本がパウロやほかのクリスチャンにとっても心に残るものだったように、母親たちの手本は、家族以外の人たちにも良い影響を与える
- ・S17 子供を助ける面での自分の努力が実を結んでいないように感じて、自分にできる限りのことを行って子供を教え続けるなら、子供がエホバの友になるよう精いっぱい助けていることになる。

III. 助けを求めてエホバに頼る面で

- ・S18 エホバの助けを正しく認識する：①あなたの子供がエホバの友になりたいと思っているなら、エホバはその子のことも助けてくださる。②子供が真理の道からそれているように思えるとしても、エホバはその子を温かく見守ってくださり、その子が「正しい態度」を持っていることを少しでも示すなら、エホバは引き寄せてくださる。③あなたが適切なことを適切な時に、つまり子供にとって一番必要な時に話せるようにも助けてくれる。④あなたの子供に関心を示すよう、会衆の兄弟姉妹を動かすかも⑤子供が大人になった後でも、その子が親から教わったことを思い出せるようエホバは助けてくれる。
- ・S19 あなたの子供がどんな決定をするとしても、あなたに対するエホバの愛は変わらない。「エホバがあなたを愛するのは、あなたがエホバのことを愛しているから」ということを忘れない。